

○個別事業の基本構想

		市役所北エリア（含むエコセンター、エコプラザ）
整備の意義 目標、あり方		<p>【基本的な考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新クリーンセンター施設・周辺整備は、過去の経緯を踏まえて現在を見つめ、未来を見据えた上で、その方向性を定めなければならない。 <p>【継承・発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民参加による現施設建設用地の選定、住民主体による施設周辺まちづくりの検討によって、周辺住民と市の信頼関係を育み、現在の運営協議会に続く協働の歴史を築いてきた。 ・この点は、今後も継承し、さらに全市民的な広がりへと発展させていくべきことである。 <p>【課題解決に向けて努力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての市民が必要としながら、近くにあってほしくない施設というマイナスイメージ ・ごみを減量化し、クリーンセンターの焼却量を減らして環境への負荷を低減していくことへの全市民的理解の醸成不足 ・市役所北エリアにある軟式野球場、テニスコート、緑町コミュニティセンターの利用とクリーンセンターのごみ焼却の現状への相互理解の不足 <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より多くの市民が気軽に利用できる場所にする ・周辺住民に配慮して緑を増やし、ごみ焼却施設というマイナスイメージを可能な限り取り除く ・市役所北エリアを利用する市民が、エコプラザ（仮称）も含めて、新クリーンセンターの敷地を気軽に訪れ、ごみの減量化、低炭素社会づくりへの理解が進み、市民間の相互理解が図られるような空間づくりのあり方、空間活用のあり方に、あらゆる可能性を追求していく
基本方針	低炭素社会モデル	・積極的な緑化や自然エネルギー利用による環境に優しいまちづくり
	地域力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新施設、緑町コミュニティセンター、緑町ふれあい広場、野球場、テニスコートが融合し、周辺地域のまちづくりの核となる ⇒施設相互の融合、まちづくりの核 ⇒つながりをつくる場
	まちづくりとの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・景観形成 ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン ・防災性能の強化による安全・安心・快適なまちづくり ・施設間につながり強化
具体的な取り組み		(今後の検討)